



赤嶺ヶ丘

2月号

令和元年2月25日(水)発行

〒894-0622 奄美市笠利町大字笠利1924番地

TEL 0997-63-8114



文責： あっという間に基礎も完成。寒い雨降りの中、工事を進めて下さる方にただただ感謝の卒田

立志の季節に思うこと

校長 木場敏朗

穏やかで暖かい正月を迎えたと思っていたら、1月下旬から急に寒さが身にしみるようになりました。温度計が示す気温は15度を超えていても、奄美の暖かい気候になれた身体には風が冷たく感じることでした。2月も、暖かかったり肌寒かったりと気温の変化に翻弄される日々が続いています。

暖かい日や肌寒い日を繰り返しながらも、いつの間にか日脚(昼の時間)が伸び、窓から入る日差しの量も確実に増えてきているように思います。風は冷たくても太陽の光がキラキラ輝く「光の春」「喜びの季節」の到来です。

生徒の皆さんにとって、今の時期は自分の将来のことを思い描くためのよい機会だと思います。

立志の歳を迎える2年生だけではなく、1年生や3年生にも自分の志について考えてほしいと思います。

江戸時代末期の激動の時代に活躍した橋本左内〔越前国福井藩(今の福井県)藩士〕は、西郷隆盛に「最も尊敬する友」と言わしめた人物です。子どもの頃の左内は、自身のことを「何をしてもおろそかで、注意が行き届かず、弱々しくてぬるい性格であり、全く進歩がない。このままでは国や藩のために役に立つ人間にはなれない。」と自己分析していました。その左内が、15歳の時に立派な大人になるために書き述べた心得「啓発録」の中で『立志』について次のように書いています。

- 一 「稚心を去る」
自分とその運命を変えようと思うなら、結局、自分の手で何とかする以外に方法はない。その第一歩は「稚心」、つまり「子供っぽい心」を捨て去ることである。
- 二 「気を振(ふる)う」
負けてたまるか、くじけてなるものかという負けじ魂こそが人を変えるエネルギーになる。常にそうした心を持ち、緊張をゆるめず油断のないようにしなければいけない。
- 三 「志を立てる」
夢や目標を持って。自分の心の向かうところをしっかりと決め、一度決心したからには、その方向を目指して絶えず努力するべきである。
- 四 「学を勉(つと)める」
学問を学ぶことは大切である。そして、それを世の中のために正しく生かすこともまた大切である。
- 五 「交友を択(えら)ぶ」
互いに切磋琢磨できる良き友を選ぶこと。自分を高めてくれ、心から尊敬でき、何かあった時に、真剣に心配してくれる友達こそ、何よりも大切にするべきである。

生徒の皆さん一人一人が、自分の「夢」を実現させるためにも、橋本左内の言葉を参考にして、得意不得意にかかわらず何事にも一生懸命に取り組み、我慢してでも最後までやりとおすことで自分を成長させてほしいものだと思います。御家庭でも具体的な行動のアドバイスなどをよろしく願いいたします。

これからも、生徒一人一人が輝けるよう職員一同、一丸となって支援して参りますので皆様の御理解と御協力をよろしく願いいたします。

2020AMAMI 市美展入賞！！

書道の部



特選 3年 伊瀬知 美 央 さん
入選 1年 中野 雄 賀 さん
2年 南 海 琉 凜 さん
3年 森 菜 津 希 さん

美術の部



田中一村記念美術館賞 1年 肥 後 楓 香 さん
奨励賞 3年 伊瀬知 美 央 さん
特選 1年 中野 雄 賀 さん
入選 1年 川 上 藍 さん



第53回鹿児島県中学校音楽コンクール「春の祭典」で金賞を受賞！！

春の祭典とは「本格的な音響設備の整った施設で発表する経験を通して、県下中学校生徒の音楽を愛好する心情を育て、音楽に対する感性を豊かにし、音楽的な能力の向上を図る」という目的で、鹿児島県中学校教育研究会音楽部会が主催し、鹿児島県教育委員会の後援を受けて実施される音楽のコンクールで、今年で53回目を迎えます。学級合奏の部や学級合唱の部、器楽合奏の部や独奏の部など、様々な部門がありますが、本校はステージ審査に準じる、離島の学校を対象とした録音審査部門に応募していました。その結果が先日届き、本校は見事金賞に輝きました。録音審査部門における大島地区の金賞は知名中学校と本校の2校のみでした。生徒たちは昼休みや放課後など時間を惜しんで練習し、録音は農村環境改善センターで行いました。卒業式で合唱を行う予定ですので、是非、美しいハーモニーをお聞きください。



男子バレー部 県新人大会第3位入賞

第39回中学新人バレーボール大会兼九州中学校バレーボール選抜優勝大会県予選が1月25日～27日まで、霧島市横川体育館を中心に行われました。本校からは1年生の中野颯馬さんと川上広斗さんが赤木名中学校との合同チームで参加しました。チームはベスト4に勝ち進み、4チームによるリーグ戦の結果見事3位に入賞しました。合同での練習は週1日程度ですが、生徒たちは一生懸命取り組み、この成果を勝ち取りました。夏の総体では更なる上位を目指し、日々練習に励んでいます。温かい声援、声掛け、本当にありがとうございました。



理科・社会科・国語科の研究授業を行いました！

2月5日(水)に1年生の授業で理科の研究授業を実施しました。空き缶に水を入れ加熱し、封をした後水に入れると凹む現象から大気圧について考えました。力を矢印で表したり、水や空気をモデルで表したりする活動を通してお互いの意見を述べあいながら課題の解決に取り組みました。生徒は自分の考えを説明したり、モデルで表現したりするなど積極的に取り組んでいました。

2月10日(月)には国語科で研究授業を行いました。1年生の「竹(詩)」を題材に、表現方法や群読の工夫についてグループで話し合いながら授業を進めました。グループでは積極的に話し合い活動が進められ、「詩」の奥深さを感じていました。

2月17日(月)には社会科で研究授業を行いました。2年生の地理「北海道地方」を題材に、厳しい自然環境の中でどのように工夫して日本有数の農村地帯の地位を確立したかについて、学習しました。生徒たちは北海道の各地方の気候を推察しながら、農業発展の工夫を考察していきました。「自分たちの意見を積み上げて進む」授業展開に、積極的に取り組む姿が見られました。笠利中学校では理科・国語科・社会科のみならず、すべての教科において授業力向上に向けた研究授業に取り組んでいるところです。今後も全職員体制で授業力向上に励んでいきたいと思ひます。



卒業生2人がインターンシップ(職場体験学習)にやってきました！

本校卒業生の肥後悠希菜さん、西明音さん(大島北工高校1年)が、2月4日から3日間、笠利中学校で職場体験学習(インターンシップ)を行いました。養護教諭を含め、先生としての仕事に興味を持っていた2人。3日間を通して、学校司書・養護教諭・校務員・教諭と、学校で働くほとんどの職種を体験してもらいました。2人は「1時間の授業を作る大変さがわかりました」「先生方の仕事について、やりがいを感じました」と感想を述べていました。2人にとって大変有意義な3日間になったようです。



2・3月の主な行事

21	金	第3回学校評議員会	2	月	学校自由参観週間(～6日)	12	木	第72回卒業式	
22	土	バレー南大島大会(徳之島～23日)	4	水	ノ一部活動デー・定時退庁日	13	金	1年高齢者交流学习	
23	日	奄美市まなび・福祉フェスタ	3	5	木	公立高校入学選抜検査(～6日)	15	日	家庭の日・市民清掃の日
25	火	放課後の活動	9	月	校内球技大会	18	水	ノ一部活動デー・定時退庁日	
27	木	ノ一部活動デー・定時退庁日	11	水	卒業式予行・赤嶺会入会式	25	水	修了式	

